

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2023年23週（6月1週 6/5～6/11）

2023年5月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619（企画情報部）

今週の内容

◇トピックス

インフルエンザ、インフルエンザ様疾患発生報告、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、ダニ媒介感染症の予防啓発

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、新型コロナウイルス感染症、ヘルパンギーナ等

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

◇全数把握感染症発生状況（）内は件数。

結核(25)、腸管出血性大腸菌感染症(3)、レジオネラ症(7)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(3)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、梅毒(23)、破傷風(1)

◇2023年5月報

◇定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

トピックス

◆ インフルエンザ

23週の定点当たり報告数は1.76、22週329人→23週343人です。

◆ インフルエンザ様疾患発生報告

決定日	管轄保健所
6月5日	瀬戸、豊川、津島、江南、衣浦東部
6月6日	衣浦東部
6月7日	瀬戸、江南
6月9日	衣浦東部

【参考ページ】愛知県インフルエンザ情報ポータルサイト（愛知県）

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/influ.html>

◆ ヘルパンギーナ（図1）

23週の定点当たり報告数は2.74、22週242人→23週499人（2.06倍）で、2019年以来的上昇傾向が見られます。

◆ RSウイルス感染症（図2）

23週の定点当たり報告数は2.67、22週402人→23週486人（1.21倍）です。

【参考ページ】RSウイルス感染症（愛知県）

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（図3）

23週の定点当たり報告数は1.54、22週236人→23週280人です。

◆ 咽頭結膜熱

23週の定点当たり報告数は0.43、22週75人→23週78人です。

◆ 感染性胃腸炎

23週の定点当たり報告数は6.77、22週1,456人→23週1,233人です。

◆ ダニ媒介感染症の予防啓発

【参考ページ】ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

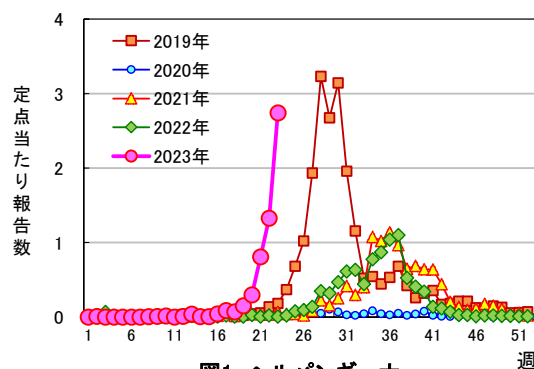


図1 ヘルパンギーナ

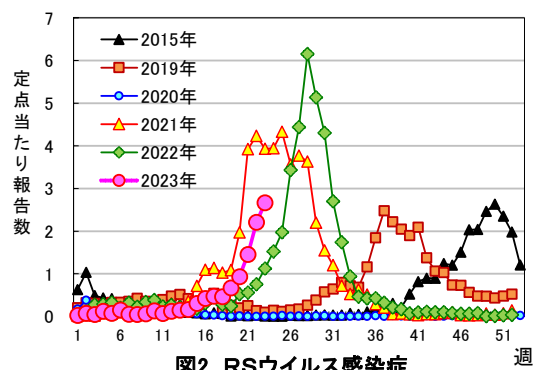


図2 RSウイルス感染症

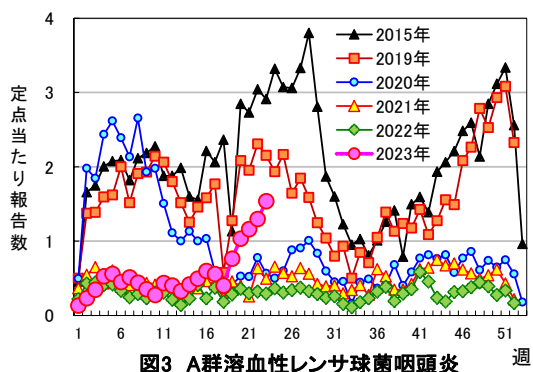


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- インフルエンザA 16名
covid19 3名（家族内感染 両親と子）
溶連菌感染症 7名
ヘルパンギーナ 4名
手足口病 1名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- RS 増えています。
アデノ 3例
ヘルパンギーナ 2例
胃腸炎が多い。
インフル なし
COVID-19 なし
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- COVID-19 5名
A型インフルエンザ 10名
ヘルパンギーナ 57名
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- RSV 11例 増加傾向です。
【犬山市 くわばらクリニック】
- インフルエンザA 3名
【北名古屋市 田中クリニック】
- インフルエンザ 2名
コロナ抗原検査陽性 6名
胃腸風邪 多い
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 2名
COVID-19 1名
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

尾張東部地区

- COVID-19 2名
A型インフルエンザ 5名
ヘルパンギーナが増えてきました。
胃腸炎での受診が多くみられました。
その他 溶連菌等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 7人
【長久手市 医療法人水野内科】
- ヘルパンギーナ 27例
A型インフル 15例
RSV 3例
胃腸炎 7例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- カンピロバクター 1人
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザA型 4名
コロナ 5名
感染性胃腸炎 5名
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 該当者なし
【常滑市 常滑市民病院】
- RS ウイルス 3名
感染性胃腸炎 11名
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

- FluA(+) 1歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザ 4例(すべてA)
Covid-19 1名
ヘルパンギーナ、溶連菌感染 散発
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 2歳男 アデノ(+)
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 4歳女 病原性大腸菌O18
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザA型 3名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- 35歳男 ノロウイルス胃腸炎
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- 毛細気管支炎、喘息様気管支炎は家族内にも
拡散、遷延。
【豊橋市 医療法人みやざわ小児科】
- RSウイルス感染症 流行中。
インフルエンザA型が増えてきました。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- アデノウイルス扁桃炎 29歳男
溶連菌感染症 35歳男
【豊橋市 いむれ内科クリニック】
- インフルエンザA型 2名
【豊川市 ささき小児科】
[5月報 STD 定点コメント]
- マイコプラズマ尿道炎 2人
【豊橋市 古島クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2023年6月14日現在

一類～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun230526.pdf

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2023年23週報告数			2023年総計(1～23週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	12	2	5	178	33	71
豊田市				13	3	3
豊橋市	1			19	2	7
岡崎市	1	1		12	7	2
一宮市	3	2	1	24	10	6
瀬戸	2	1		34	7	10
半田	1	1		4	2	1
春日井				19	2	9
豊川	1			15	2	6
津島				24	4	7
西尾				12	2	5
江南	2			16	4	3
新城				4	1	2
知多				15	1	5
清須	2			8		3
衣浦東部				20	2	4
合計	25	7	6	417	82	144

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	29歳	男	5/31	6/3	6/5	○157、VT1(+) VT2(+)
2	名古屋市	27歳	男	5/31	5/31	6/7	○26、VT2(+)
3	衣浦東部	21歳	男	6/3	6/5	6/9	○血清型不明、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	68歳	女	肺炎型	国内
2	豊田市	78歳	女	肺炎型	国内
3	岡崎市	60歳	男	肺炎型	不明
4	一宮市	79歳	男	肺炎型	国内
5	瀬戸	56歳	男	肺炎型	国内
6	津島	64歳	男	肺炎型	国内
7	津島	71歳	男	肺炎型	国内

● **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	西尾	82歳	男	その他	国内	無
2	清須	68歳	女	不明	国内	無
3	衣浦東部	79歳	男	不明	国内	無

● **劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	85歳	男	国内
2	津島	67歳	男	国内

● **後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	39歳	男	無症候性キャリア	性的接触	不明
2	名古屋市	40歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	22歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	名古屋市	25歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

● **侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	33歳	男	不明	国内
2	一宮市	86歳	女	不明	国内

● **侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	0歳	男	有	不明
2	豊橋市	1歳	女	有	国内
3	衣浦東部	79歳	女	不明	国内

● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	37歳	男	無症候	不明	国内
2	名古屋市	70歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	21歳	女	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	62歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	21歳	女	早期顕症	性的接触	国内
7	名古屋市	17歳	女	早期顕症	性的接触	国内
8	名古屋市	28歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	名古屋市	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内
10	名古屋市	28歳	女	無症候	性的接触	国内
11	名古屋市	29歳	女	無症候	性的接触	国内
12	名古屋市	29歳	男	無症候	性的接触	国内
13	名古屋市	21歳	女	早期顕症	性的接触	国内
14	名古屋市	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内
15	豊田市	42歳	男	早期顕症	性的接触	国内
16	豊田市	31歳	女	早期顕症	性的接触	国内
17	瀬戸	53歳	男	早期顕症	性的接触	国内
18	瀬戸	45歳	女	無症候	不明	不明
19	春日井	51歳	男	無症候	不明	不明
20	春日井	29歳	女	早期顕症	性的接触	国内
21	清須	25歳	男	早期顕症	性的接触	国内
22	清須	25歳	男	早期顕症	性的接触	国内
23	清須	23歳	女	早期顕症	性的接触	国内
● 破傷風（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	一宮市	86歳	男	不明	国内	

2023年5月報

(2023年6月9日現在、診断週(新型コロナウイルス感染症は報道発表日)に基づく集計)

5月の一～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2022～2023年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2023年5月			2023年	2022年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	50 (14)	37 (15)	87 (29)	389 (134)	1,080 (345)
新型インフル エンザ等 (4) *	新型コロナウイルス感染症	2,247	1,196	3,443	276,991	1,737,899
三類 (5)	腸管出血性大腸菌感染症	4 (0)	2 (1)	6 (1)	17 (6)	154 (29)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	2	2
	A型肝炎	0	0	0	1	1
	エムポックス **	0	2	2	2	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	2	17
	デング熱	1	1	2	3	9
	日本紅斑熱	0	0	0	1	5
	マラリア	0	0	0	2	3
	類鼻疽	0	0	0	0	2
	レジオネラ症	10	4	14	28	163
	レプトスピラ症	1	0	1	1	1
五類 (24)	アメーバ赤痢	2	1	3	17	31
	ウイルス性肝炎	0	0	0	6	6
	内訳 B型	0	0	0	3	5
	内訳 その他	0	0	0	3	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症 **	9	5	14	65	161
	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	0	2
	急性脳炎	0	2	2	16	24
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	2	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	0	3	30	53
	後天性免疫不全症候群	0	8	8	38	70
	内訳 無症候性キャリア	0	7	7	25	45
	内訳 AIDS	0	1	1	13	22
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	2	7	15	22
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	17	6	23	69	100
	水痘(入院例に限る。)	2	0	2	12	23
	梅毒	30	52	82	360	768
	内訳 無症候	5	17	22	94	185
	内訳 早期顕症	25	35	60	260	571
	内訳 晩期顕症	0	0	0	4	11
	内訳 先天梅毒	0	0	0	2	1
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	5	9
	破傷風	0	0	0	0	6
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2	0
	百日咳	7	0	7	13	10
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	3	0
	総計	2,388	1,318	3,706	278,094	1,740,643

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症」の位置付けがCOVID-19として5類感染症の定点把握に変更されたため、上記表には2023年5月7日分までを計上しています。

** 2023年5月26日から以下の2疾病について、届出基準及び届出様式が改正されました。

(改正前)サル痘→(改正後)エムポックス

(改正前)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症→(改正後)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名		2023年5月			2023年 累計		2022年 総計		
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					合計		合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	42	88	130	585	922	1,385	2,148
		女	47	25	72	337		763	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	18	26	44	178	322	375	728
		女	13	8	21	144		353	
	尖圭コンジローマ	男	8	19	27	127	176	344	467
		女	5	3	8	49		123	
	淋菌感染症	男	18	44	62	268	325	827	953
		女	11	4	15	57		126	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		58	2	60	293		772	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		5	0	5	12		27	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2023年5月			2023年 累計		2022年 総計	
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	0	0	0	0		3	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2023年5月8日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (49疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型新型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症(政令で指定、一年限定)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の位置付けが5類感染症の定点把握に変更されました。

グラフ総覧

2023年23週(6月5日～6月11日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2023年23週までの定点(インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

